

取材先	しものせき多文化ひろば		
企画名	多読の時間		
備考			
取材日	2026年4月25日(土)天候[晴れ] [13:30~15:00]	取材地	しものせき市民活動センター

レポート

●参加者：外国人3人 日本人4人
 活動内容：やさしい日本語(日本語学習者でも読める簡単な日本語)で書かれた本を読み、日本語を身につけるワークショップ。

〔当日の流れ〕
 多読の意味の説明→参加者とスタッフでアイスブレイク→多読の4つのルールを解説→ルールに従いながら本を読み読んだ本を記録→参加者と感想を発表し合う。

〔ルールの詳細〕
 ①どれだけ日本語ができる人でも必やさしいレベル(超入門)から読む ②辞書は使わない ③分からなかったらとばす ④進まなくなったら他の本を読む

〔成果〕
 やさしい日本語から段階的にレベルアップできる構成になっており、日本語学習者の支援に有効だと感じた。また、内容面にも工夫があり、日本人参加者も楽しむことができた。

〔参加者の声〕
 参加者からは、静かな読書活動に対する不安の声もあった一方で、実際には落ち着いた雰囲気の中で読書を楽しむことができたとの感想が寄せられた。

★楽しく読むことを重視し、日本語学習者が主体的かつ継続的に日本語を習得できるよう支援することを目的としているように感じた

状況写真



多読のルールと読んだ本を記録する用紙

当房代表が今日の振り返りをしている様子



中国人参加者が少しレベルを上げて本を読んでいる様子



参加者が本を選び、読んでいる様子。日本人参加者も全員、超初級レベルから読んでいる

